

令和5年4月定例記者会見要旨(令和5年3月27日)

1. 番の州臨海工業団地では、3月25日にハローズ坂出口ロジスティクスセンターの落成式が行われました。令和5年度中には竜王金属、ショーワグローブも工場を稼働させる予定となっており、一つの節目を迎えます。改めて、工業団地の整備に対する市長の受け止めと、今後への期待感をお聞かせください。

番の州臨海工業団地は、四国における流通拠点として重要な役割を担う「坂出港」に位置しており、瀬戸中央自動車道の「坂出北インターチェンジ」へのアクセスも良く、県内の臨海部を結ぶ大動脈である「さぬき浜街道」に近接しております。

令和6年度には、「坂出北インターチェンジ」のフルインター化、「さぬき浜街道」の4車線化も予定されていることから、交通利便性のさらなる向上が期待され、信頼性の高い物流ネットワークの形成につながるものと考えております。

本市においては、人口減少の克服と地域活力の向上に重点的に取り組んでおり、地域活力の向上の面で企業誘致活動に力を入れているところです。信頼性の高い物流ネットワークの形成により、企業活動における地理的優位性が一層高まることから、香川県と情報共有を密にしながら市域全体における民間の低未利用地においても積極的に働きかけを行い、また、都市計画区域を対象とした用途見直しと連携させながら、企業誘致を推進していきたいと考えております。

こうした中において、ハローズ、竜王金属、ショーワグローブの工場稼働により、本市にとって、地域経済の発展や市民の雇用機会の拡大につながるものと、大きな期待を寄せております。